



# 植栽基盤整備

— 調査のてびき —



社団法人 日本造園建設業協会

## 診断項目

---

- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| <b>1 土壌断面</b> | (土壌断面調査)<br>(長谷川式大型検土杖)            |
| <b>2 土性</b>   | (指頭法)                              |
| <b>土色</b>     | (土色帖)                              |
| <b>3 土壌硬度</b> | (長谷川式土壌貫入計)                        |
| <b>4 透水性</b>  | (長谷川式簡易現場透水試験器)                    |
| <b>5 化学性</b>  | 酸度：pH (pH測定機)<br>電気伝導度：EC (ECメーター) |

■長谷川式大型検土杖による調査方法

<p>①</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全のため、作業前に必ず軍手を着用する</li> <li>● 作業の直前に固定ピンをはずす</li> <li>● 固定ピンを無くさぬよう、ノッキングヘッド下部にある保管穴に挿しておく</li> <li>● 移動時には必ず固定ピンで落錘を固定しておく</li> </ul>
<p>②</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 落錘止めに手を添え本体を垂直に立てる</li> <li>● 落錘を落下させ、その力でサンプラーを土壌中に貫入させる</li> <li>● 土壌が硬い場合は落錘をノッキングヘッドに叩きつけるようにする</li> <li>● 作業の際、落錘とノッキングヘッドとの間に手を挟まないように注意する</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土壌が軟らかい場合は、サンプラーの長さ分(35cm) ずつ貫入させて良い</li> <li>● 硬い場合は、引き抜き作業を楽にするため、10～15cm程度ずつにすると作業が容易である</li> </ul>
<p>③</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一定深度まで貫入させたら、引き抜き作業を行う（軟らかい土壌で深度1mまで調査する場合、1回目35cm、2回目70cm、3回目105cmの3回でOK）</li> <li>● ヘラ付ハンドルをノッキングヘッドまたは落錘止めの穴に挿す</li> <li>● 本体を時計回り方向に1～2回転させる（逆回しはネジが緩む）</li> <li>● ヘラ付ハンドルを持ち上に引き上げる</li> </ul>
<p>④</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● サンプラー内に採取された土壌の表面を、ヘラ付ハンドルで削り土壌状況を見やすくする</li> <li>● 野帳に層位・深度・土性・土色・水分状況・レキ等を記録する</li> <li>● ヘラ付ハンドルでサンプラー内の土壌をかき出す（分析で必要ならばビニール袋等に保存しておく）</li> </ul>
<p>⑤</p>	<p>調査終了</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目的とする深さに達するか、または貫入不能となるまで、②～④を繰り返す</li> </ul>